

講義コード	11C0116700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	青才 高志	開講期	第2期																
科目名	マルクス経済学2					青才 高志		第2期																	
履修前提条件						備考																			
授業の目的	マルクス経済学2では、現に今私達が生活している資本主義経済の構造・法則・機構を明らかにする。																								
到達目標	(1) 経済学の基礎的な用語の修得。そして、そのことを通じて、同時に、現実の経済を把握する際の視点、現実を切る道具を学んでもらう。 (2) 資本主義経済の構造・法則・機構を認識することを通じて、現実を解剖し、問題を発見・解決する力を身につけてもらう。																								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	各回の授業で扱った内容や、次回の授業で扱う予定の内容について、参考書を用いて、また、図書館やインターネット等を利用して予習・復習を行う。授業外で計60時間以上の学習を行うこと。																								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>【第1回】はじめに 社会経済学の方法</td> <td>【第9回】 同部門内競争と市場生産価格 地代</td> </tr> <tr> <td>【第2回】 商品と貨幣</td> <td>【第10回】 商業資本</td> </tr> <tr> <td>【第3回】 貨幣と資本</td> <td>【第11回】 商業信用</td> </tr> <tr> <td>【第4回】 労働過程と生産過程</td> <td>【第12回】 銀行信用</td> </tr> <tr> <td>【第5回】 剰余価値</td> <td>【第13回】 資本の結合と株式資本</td> </tr> <tr> <td>【第6回】 利潤</td> <td>【第14回】 資本の商品化と株式価格</td> </tr> <tr> <td>【第7回】 異部門間競争と生産価格</td> <td>【第15回】 まとめ</td> </tr> <tr> <td>【第8回】 生産価格と価値法則</td> <td></td> </tr> </table>									【第1回】はじめに 社会経済学の方法	【第9回】 同部門内競争と市場生産価格 地代	【第2回】 商品と貨幣	【第10回】 商業資本	【第3回】 貨幣と資本	【第11回】 商業信用	【第4回】 労働過程と生産過程	【第12回】 銀行信用	【第5回】 剰余価値	【第13回】 資本の結合と株式資本	【第6回】 利潤	【第14回】 資本の商品化と株式価格	【第7回】 異部門間競争と生産価格	【第15回】 まとめ	【第8回】 生産価格と価値法則	
【第1回】はじめに 社会経済学の方法	【第9回】 同部門内競争と市場生産価格 地代																								
【第2回】 商品と貨幣	【第10回】 商業資本																								
【第3回】 貨幣と資本	【第11回】 商業信用																								
【第4回】 労働過程と生産過程	【第12回】 銀行信用																								
【第5回】 剰余価値	【第13回】 資本の結合と株式資本																								
【第6回】 利潤	【第14回】 資本の商品化と株式価格																								
【第7回】 異部門間競争と生産価格	【第15回】 まとめ																								
【第8回】 生産価格と価値法則																									
成績評価の方法	学期末試験で評価します。																								
フィードバックの内容	試験の解答等の解説を Webclass にアップロードする。																								
教科書																									
指定図書																									
参考書	『経済原論』宇野弘蔵(岩波文庫)2016、『利潤論の展開——概念と機構——』青才高志(時潮社)1990																								
教員からのお知らせ	(1)関連する科目なので、出来るだけ、第1期のマルクス経済学1も受講して下さい。 (2)……@rissho-univ.jp に送信されたE-mail が手元で使っているスマホ・PC等に転送されるように設定しておいて貰いたい。なお、スマホ等のE-mail addressが変わった場合には、忘れないで転送設定の変更をしておくこと。																								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。また、メールによる質問・相談も受け付けます。 E-mail aosai@shinshu-u.ac.jp なお、青才と連絡を取りたい場合には、Webclassを通じてではなく、上記E-mail address宛に直接E-mail して貰いたい。																								
その他																									